様式1-30（主任実習助手（高等学校）用） （様式Ａ３判）

**令和　　年度　　　自　己　評　価　シ　ー　ト**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学校名 |  | 職名 |  | 氏名（年齢） | 　　　　　　　　　　（　　歳） | 職員番号 |  | 在職年数（現所属） | 年（　　） |
|  | キャリア段階 | Ⅰ　Ⅱ　Ⅲ |

|  |  |
| --- | --- |
| ｢目指す学校像｣ |  |
| 評価領域 | **目　　　　　標　　　　　及　　　　　び　　　　　実　　　　　績** | **行動プロセス** | **自　　　己　　　評　　　価** |
| 当　　　初　　　申　　　告 | 達　成　状　況　申　告 | ※修正申告 | 行動プロセスに関する着眼点 | 所見・特記事項 | 評価 | ※修正評価 |
| 困難度 | 今年度の目標 | 方　　　　　策（目標達成に向けた具体的な手順や時期等） | 目標の達成状況・方策の取組状況次年度への課題 | 達成度 | 修正内容 | 達成度 | （評価の理由を記するとともに、特筆すべき実践がある場合はその事実を記入する） | 修正理由 | 評価 |
| Ⅰ実験・実習等の指導計画の作成・実施・改善 |  |  |  |  |  |  |  | ・生徒の興味・関心に応じて、担当教諭と連携しながら、専門的な知識・技術と経験を生かして教材・教具等の工夫を進めている。・実験・実習の事前準備や事後処理が適切に行われ、指導計画に沿った円滑な授業の進行に貢献している。・生徒の学習意欲を向上させるため、担当教諭と連携し、専門的な知識・技術と経験を生かして実験・実習方法等の工夫・改善に努めている。 |  |  |  |  |
| ■中間申告　[進行状況の整理・目標の修正等] |
| Ⅱ実験・実習等の施設・設備の管理 |  |  |  |  |  |  |  | ・安全で快適な環境で授業を行えるよう、実験・実習で使用する設備、教材等の点検・整備・管理に努めている。・担当教諭と協力して、実習室等の安全管理を確実に行っている。・実験･実習後、施設・設備の適切な活用等の問題点を洗い出し、改善するよう努めている。 |  |  |  |  |
| ■中間申告　[進行状況の整理・目標の修正等] |
| Ⅲその他の校務等校務分掌等 |  |  |  |  |  |  |  | ・校務分掌の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。・分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。・保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。・教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。 |  |  |  |  |
| ■中間申告　[進行状況の整理・目標の修正等] |
| チームワーク行　動段階に〇　を記　入 | Ⅰ段階 | チームワーク行動に関する着眼点 | 重点 | Ⅱ段階 | チームワーク行動に関する着眼点 | 重点 | Ⅲ段階 | チームワーク行動に関する着眼点 | 重点 | チームワーク行動における重点項目その他の取組状況 | 評価 |
| 相手の立場や気持ちを理解し、日常的に円滑なコミュニケーションを取っている |  | 児童生徒の状況や校務に関わる情報を共有し、積極的にコミュニケーションを取っている |  | チームの取組等を他の教職員や保護者等に発信するなど、信頼関係づくりを推進している |  |  |  |
| 諸会議や職務遂行において、他の教職員の意見に耳を傾け協力して取り組んでいる |  | 諸会議や職務遂行において、提案や改善に努め、意欲を持って主体的に取り組んでいる |  | 諸会議や職務遂行において、進んで合意形成を図りながら、職務を円滑に遂行している |  |
| 教育活動等の経験を継承するため、他の教職員から積極的に学ぼうとしている |  | チームで協力して教育活動等の経験の蓄積に取り組んでいる |  | 教育活動等の経験を伝承するため、他の教職員に対して進んで支援・助言を行っている |  |
| 直接担当する業務以外でも、気付いたことがあれば積極的に行動している |  | 管理職や他の教職員、保護者等と協力・協働し、チームワークづくりを推進している |  | 広い視野から取組状況等を分析し、中長期的な視点で課題や対応方針を考えて行動している |  |
| 研修 | （目標・計画） | （成果・課題） | ※ チームワーク行動については、当該年度に取り組もうとする重点項目２つに○を記入する。※ 自己評価欄については、「実績」及び「行動プロセス」について、「行動プロセスに関する着眼点」を 踏まえ、領域ごとに総合的に自己評価を行い、記入する。※ 修正申告及び修正評価欄については、達成状況申告及び自己評価が基準日前に行われた場合であって、 基準日現在において状況が変わった場合に限り記載する。 |